

分野（領域）	専門分野Ⅱ 【精神看護学】	科目名	精神看護学方法論Ⅱ
単位（時間）	1（30時間）	開講時期	1年次 <span style="border: 1px solid black;">2年次</span> 3年次
講師	外部講師		
科目目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各精神障害者の特徴を病気や症状の面から理解し、求められる看護援助のあり方に活用できる。</li> <li>2. 看護場面における治療的対人関係を理解し、相互作用を効果的に活用できる。</li> <li>3. 看護場面に必要なコミュニケーション技法を理解し、それを効果的に活用できる</li> <li>4. 患者の障害や問題を理解し、看護過程が展開できる。</li> </ol>		
<p><b>【講義内容】</b></p> <p>第8章 ケアの人間関係  A ケアの前提 B ケアの原則 C ケアの方法 D 関係をアセスメントする  E 患者 - 看護師関係における感情体験 F 対処のむずかしい場面 G 医療の場のダイナミクス</p> <p>第9章 回復を助ける  A 回復の意味 B 入院治療の目的と意味 C 治療的環境をつくる</p> <p>第10章 安全をまもる  A リスクマネジメントの考え方と方法 B 緊急事態に対処する  C 院内を中心とした災害時のケア</p> <p>第11章 身体をケアする  A 精神科における身体のケア B 身体にあらわれる心の痛み  C 精神科の治療と身体のケア D 日常から気をつけておきたい身体合併症  E 精神科における身体のケアの実際 F 睡眠の援助  G 身体の問題へのグループアプローチ</p> <p>第12章 サバイバーとしての患者とそのケア  A 受け入れがたい行動を示す患者たち B 心的外傷への着目 C 回復への道程</p> <p>第13章 地域における精神保健と精神看護  A 精神障害をもちながら地域で暮らす人を支える B 地域で生活するための原則  C 生活を支えるための社会資源・サービス D 地域での看護の実際  E 学校における精神保健と精神看護 F 職場における精神保健と精神看護  G 災害と精神看護</p> <p>第14章 リエゾン精神看護  A 身体疾患をもつ患者の精神保健 B リエゾン精神看護とその活動  C リエゾナーズの活動の実際 D 看護師の精神的健康への支援</p>			
<p><b>【テキスト／参考文献】</b></p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 精神看護学[2]</p>			
<p><b>【評価】</b></p> <p>学科試験 筆記；100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする</p>			